

令和2年度徳島県田園環境検討委員会
環境配慮実績報告書

徳島県 農山漁村振興課

令和3年3月

農業農村整備事業の環境配慮計画・実績(R2年度まで)

参考資料

令和3年3月現在の状況

番号	採択年度	事業名	地区名(所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング結果等(予定)
27	H18	老朽ため池等整備事業	奥の池(美馬市)	ため池堤体改修	希少植物(イトモ)	②最小化	・工事による個体への影響を少なくするため、冬期に工事を行う。	⑤代償	・イトモ生育箇所の土を仮置し工事成後に戻した。(R020608)	ため池水位上昇により確認できず(R021201)
56	H28	経営体育成基盤整備事業	大代戎野(鳴門市)	水路	水生植物※魚類	②最小化	・水路側壁部にブロックネット・ふとんかご等を敷設し覆土を行い、水生植物の植生回復により、魚介類の生息空間を創出する。	②最小化	・計画どおり(魚巢ブロック等設置するとともに、専門家の助言のもと、水路片岸を傾斜したブロック護岸とした)。	環境DNA調査実施したが、カバハカマを確認できず。(R021012)
59	H30	経営体育成基盤整備事業	芳崎(阿南市)	ほ場整備(畦畔)	希少植物(ミス'カモジ、アセスケ)	④軽減/消失	・種子を採取し、個体と生育地の土壌と共に工事の影響のないところに移動しておき、工事後植戻し及び播種を行う。	④軽減/消失	・ミス'カモジ、アセスケの種子を採取後、播種し、生育状況のモニタリングを実施中。(R020415他)	未
64	H30	老朽ため池等整備事業	花園池(三好市)	ため池堤体改修	希少植物(フジバカマ)	⑤代償	・個体と種子を採取し、生育環境の類似した場所に移植及び播種を行う。	—	・今回の踏査では確認されなかった。現場は、草刈りが実施されていた。(R020415他)	未
65	H30	老朽ため池等整備事業	妙見池(阿南市)	ため池堤体改修	貝類(オオタニシ) 希少植物(コカモザル) 希少植物(ススノゴエ)	④軽減/消失 ⑤代償	・種子を採取し工事後播種するとともに、個体を土壌とともに避難し、工事後植戻しする。 ・種子を採取し工事後播種するとともに、生育地の表土を堤体盛り土に利用する(播種、盛り土ともに堤体の水際)。	④軽減/消失 ⑤代償	・計画どおり(湿水域に避難させた)。 ・コカモザルの個体を採取した。今後、保護育成し、種子の採取及び播種により移植のための苗の生産を行う予定。(R020926)	未

事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	奥の池	市町村	美馬市
事業所名	西部総合県民局<美馬>	課名	農村保全	採択年度	H18

環境配慮の内容：⑤代償

ため池整備工事期間中、希少植物であるイトモが生育している土を仮置きし、工事完成后、元のため池内に移す。

⑤代償

ため池整備工事期間中、希少植物であるイトモが生育している土を仮設の池に仮置きし、工事完成后、ため池の土砂堆積部に移した。

工事着工前

<移設状況(ため池)>



<仮設池>



<移設状況(仮設池)>



<仮置き状況>



工事完成後

<移設状況(仮設池)>



<移設状況(ため池)>



<移設完了>



事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	大代戎野	市町村	鳴門市
事業所名	東部農林水産局<徳島>	課名	農村整備第一	採択年度	H28

環境配慮の内容：②最小化

水路側壁部にブロックネット・ふとんかご等を敷設し覆土を行い、水生植物の植生回復により、魚介類の生息空間を創出する。

②最小化

水路の右岸側にふとんかごを敷設し覆土を行い、水生植物の植生回復による魚介類の生息空間を創出した。また、左岸側に魚巣ブロックを施工し、魚介類の隠れ場所等生育場所を確保した。

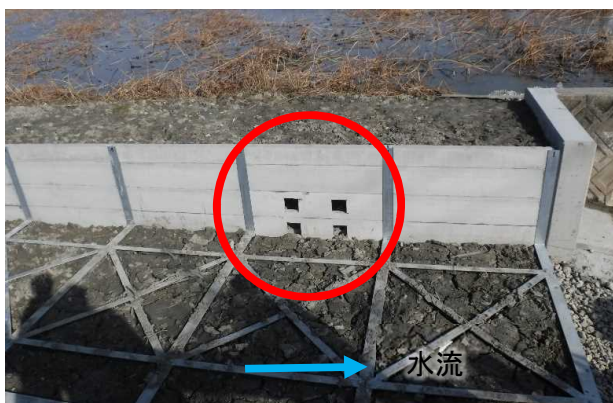
<全景>



<ふとんかご設置状況>



<魚巣ブロック>



<魚巣ブロック接写>



事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	芳崎	市町村	阿南市
事業所名	南部総合県民局〈阿南〉	課名	農村保全	採択年度	H30

環境配慮の内容：④軽減/消失

ミズタカモジとアゼスゲの種子を採取、播種し、生育状況のモニタリングを行う。

④軽減/消失

今年度、希少植物(ミズタカモジ・アゼスゲ・フジバカマ)の生育状況の確認を行い、種子の採取を行った。(R2.4.15, R2.5.20, R2.10.7) 今回、フジバカマは、確認されなかった。



3期工事地区のミズタカモジの自生地



2期工事地区のアゼスゲの自生地



採取した種子(ミズタカモジ)



採取した種子(アゼスゲ)



播種したミズタカモジ



播種したアゼスゲ

採取したミズタカモジ、アゼスゲの種子について、モニタリングの結果、発芽しなかった(R2年12月)。R3年度に再度、種子採取を行う予定。

事業名	ため池等整備事業	地区名	花園池	市町村	三好市
事業所名	西部総合県民局<三好>	課名	農村保全担当	採択年度	H30

環境配慮の内容：④軽減／消失

オオタニシを湿水域へ避難させる。

④軽減／消失

オオタニシを捕獲し、池流入部の湿水域に避難させた。

<オオタニシ捕獲状況>



<オオタニシ避難状況>



事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	妙見池	市町村	阿南市
事業所名	南部総合県民局〈阿南〉	課名	農村保全	採択年度	H30

環境配慮の内容：④軽減/消失

希少植物（コカモメヅル・スズメノコビエ）の個体を採取、保護育成し、種子の採取及び播種により苗の生産を行う。

④軽減/消失

今年度、希少植物（コカモメヅル・スズメノコビエ）の事前調査を実施し、個体の採取を行った。
(R2.9.26, R2.10.16)



今年度確認したしたコカモメヅル(R2.9.26)



今年度確認したしたスズメノコビエ



採取したコカモメヅル(R2.9.26)



採取したスズメノコビエ(R2.10.16)

採取したコカモメヅルとスズメノコビエを保護育成し、種子の採取及び播種により移植のための苗の生産を行う予定。



保護育成中のコカモメヅル(R2.12.10)



保護育成中のスズメノコビエ(R2.12.10)

農業農村整備事業の環境配慮計画・実績(R2年度まで)

令和3年3月現在の状況

番号	採択年度	事業名	地区名(所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング結果等(予定)
1	H15	土地改良総合整備事業	昭和2期(阿波市)	農業用水のハイライン化	水生動植物	④軽減/消失	・ハイライン化に伴い不要となる開水路を存置し、地元関係者の協力のもと用水を流す。	④軽減/消失	・地元関係者の協力により、開水路を残し、用水を流下させている。	・工事前と同様の環境を保全。
2	H15	土地改良総合整備事業	上喜来2期(阿波市)	農道(現道拡幅) 農道測溝水路	希少植物(カワチンヤ)	①回避 ⑤代償	・農道の路線変更もしくは移植する。	—	・対策なし(付近広範囲に生息を確認でき、専門家は対策不要との見解)	—
3	H15	中山間地域総合整備事業	相生中央(那賀町)	水路 取水堰改修	希少植物(ユキモチウ)	②最小化 ④軽減/消失	・水路側壁を環境配慮型のブロックとする。	②最小化	・計画どおり(緑草ブロックの設置)。	・植物の繁茂を確認。
				区画整理	甲殻類(ヤマトヌエビ)	②最小化	・工事に際し痛めないよう作業員に注意喚起する等行う。	④軽減/消失	・生育箇所をロープで囲った。	・開花を確認(H19.4)。
				区画整理(畦畔)	魚類等(トジョウ等)	②最小化	・遡上できる構造とする。	②最小化	・計画どおり(石張りスロープ構造)。	・堰の上下流で個体確認(H19夏・秋)。
4	H15	農免農道事業	池田2期(池田町)	農道(横断暗渠) 農道	魚類(ナガレホトケトシヨウ)	①回避 ②最小化	・水田内のよけ(山際の土水路)を残す。	②最小化	・計画どおり(水田内のよけ(山際の土水路)を再設置)	・個体確認(H19夏・秋)。
				農道(側溝)	農村環境・景観	②最小化	・適切な畦畔の管理、もしくは石積み再利用。	②最小化	・計画どおり(石積みの再利用)。	—
				農道	魚類(ナガレホトケトシヨウ)	②最小化	・遡上できる構造とする。	—	・事業計画の見直しで地区外へ(池田地区で対応)。	—
				農道	魚類(ナガレホトケトシヨウ)	④軽減/消失	・工事区域に取り残された個体を上流へ移動させる。	—	・事業計画の見直しで地区外へ(池田地区で対応)。	—
				農道	徘徊性動物(ヒキカエル等)	②最小化	・移動経路を確保するため、落下しないあるいは這い上がられる構造とする。	—	・事業計画の見直しで地区外へ(池田地区で対応)。	—
				農道	希少植物(ヤブサンザシ・カンアオイ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	—	・対策なし(付近広範囲に生息を確認でき、専門家から配慮不要との見解)。	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
5	H15	農免農道事業	美馬中野 2期 (美馬市)	農道	希少植物 (ヤブサンザシ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	×	・着手前に消失(イノシシの畏を仕掛けるとして除去された)。	—
6	H15	老朽ため池等整備 事業	水晶池 (鳴門市)	ため池堤体改 修	希少植物 在来植生	②最小化 ④軽減/消 失	・堤体上流側法面を自然型擬石ブ ロック張等により植生空間を創る。 ・堤体下流側法面に現況法面の表 土を張る。	②最小化	・計画どおり(自然型擬石ブロッ ク張)。	・在来植生を確認(平 成19年夏・秋)
				ため池堤体改 修	希少植物 (オオハリイ、キツ)	②最小化 ④軽減/消 失 ⑤代償	・堤体上流側を緩傾斜土羽護岸と する。 ・工事期間中、たまり水部を創設し 一時移動する。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側端部を緩 傾斜の土羽としたすとともに、工 事期間中は浅瀬の水たまりを創 設)。	・在来植生を確認(H19 夏・秋)
7	H15	老朽ため池等整備 事業	池谷池 (阿波市)	ため池堤体改 修	貝類 (モリアガイ)	②最小化 ④軽減/消 失	・工事における改変を極力抑え、重 機から油類を流出、飛散させない。	④軽減/消失	・計画どおり(工事期間中浅瀬の水 たまりを創設)。	—
				ため池堤体改 修	在来植生	②最小化	・堤体上流側法面を自然型擬石ブ ロック張とする。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面に自 然型擬石ブロック張を実施)。	・在来植生を確認 (H18.8)
8	H15	河川応急対策事 業	長岸寺西 (松茂町)	水門改修 (取合水路合 む)	在来水生植物 (ヒジ、ハス等)	⑤代償	・コンクリート水路の側壁部及び底版部 に植生ヤシマツトを設置する。	⑤代償	・計画どおり(コンクリート水路の側壁部 及び底版部に植生ヤシマツトを設 置)。	未
				水門改修 (取合水路合 む)	在来植生	④軽減/消 失	・堤体法面部盛土に現況の植生土 壤を使用する。	④軽減/消失	・計画どおり(堤体法面部の盛土に 現況の植生土壌を使用)。	未
9	H15	地盤沈下対策事 業	藍住2期 (藍住町)	農業用水のハ イライン化	希少植物 (コイカラン)	⑤代償	・個体を移植する。	⑤代償	・計画どおり(施工箇所のコイカラン を15株移植)。	・枯死を確認(H17年夏 の大干ばつ)。 【分析】 ・移植先での水不足。 今後の移植について 注意。
				地盤沈下対策事 業	希少植物 (フジバカマ・ミスズマツ バ・スズマコバ)	③修正 ④軽減/消 失 ⑤代償	・在来種の繁茂する畦畔、水田の 表土を、それぞれ保管し、工事後に 戻す。 ・土壌ごと個体を仮移植し工事後に 戻す。	①回避 ④軽減/消失	・排水路の路線を変更し、フジバカマ の生息地を回避。 ・計画どおり(畦畔土壌を保管し、畦 畔に再利用)。	・全ての重要種ほか事 前調査で確認された多 くの種を確認(H20春、 秋) 水田含め、従前の土 壌の再利用が有効。
10	H16	経営体育成基盤 整備事業	平島上 (那賀川町)	ほ場整備 (畦畔)	希少植物 (フジバカマ・ミスズマツ バ・スズマコバ)	③修正 ④軽減/消 失 ⑤代償	・在来種の繁茂する畦畔、水田の 表土を、それぞれ保管し、工事後に 戻す。 ・土壌ごと個体を仮移植し工事後に 戻す。	①回避 ④軽減/消失	・排水路の路線を変更し、フジバカマ の生息地を回避。 ・計画どおり(畦畔土壌を保管し、畦 畔に再利用)。	・全ての重要種ほか事 前調査で確認された多 くの種を確認(H20春、 秋) 水田含め、従前の土 壌の再利用が有効。

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
11	H16	広域農道事業	徳島東部 3期 (徳島市他)	ほ場整備 (水路)	水生動植物 (タカ・トシヨウ)	③修正 ④軽減/消 失	・水路側面に凹部を設け流速緩和、 底張りしない、ホップ場に止水域の 創設など、生育空間を創設する。 ・工事濁水の流入を防止する。	③修正	・計画どおり(ホップ場内に、遊水池 を設け、トンボ等の水生動植物の生 息空間を設置)。	未
				ほ場整備 (水路)	両生類 (トナサマガエル)	②最小化 ④軽減/消 失	・両生類(トナサマガエル)の生態系に配 慮する。	②最小化	・水路側壁に水路から水田への移 動可能なスロープを設置。	未
12	H16	農免農道事業	忌部5期 (吉野川市)	農道	希少植物 (キンラン・イスハハ コ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	⑤代償 —	・計画どおり(計画路線の変更は困 難なため、キンランを移植)。 ・対策なし(付近に多数の個体の生 育を確認したため、イスハハコに対す る対策は不要)。	・移植先周辺でキンラン を確認出来なかった。 【分析】 ・鳥獣被害等により、 育環境に変化があっ た。
				農道(側溝)	小動物 (カエル・ヘビ)	②最小化	・転落した際に這い上がれる構造と する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				農道	希少植物 (タシロラン)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				農道(横断暗 渠)	魚類 (カワヨシノボリ等)	②最小化	・円形コルゲートパイプ等、上下流で 移動可能な構造を検討する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				農道	希少植物 (セウチホトキス・スミ ヤコアイ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	①回避	・計画どおり(路線計画を見直し回 避した)。	—
				農道	希少植物 (サケバゼリ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	—	・対策なし(再調査の結果、希少種 でないセリと確認)。	—
農道(側溝)	地上徘徊性動物 (ヒバカリ)	②最小化	・転落した際に這い上がれる構造と する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施				

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
13	H16	国営附帯県営農 地防災事業	六条 (上板町・ 板野町)	農業用水のハ イフライン化	水生動植物等	④軽減/消 失	・ハイフライン化に伴い開水路への通 水が不要となるが、放水管を設置 し、地元関係者の協力のもと用水を 流す。 ・個体を移植する。	④軽減/消 失	・計画どおり(地元関係者の協力に より、現況開水路に用水を流下させ る放水管を設置)。 ・隣接する道路下へパイプを配管す る経路変更により、生育するほ場畦 畔部の掘削を回避。 【分析】 農家の理解を得られる よう啓発が必要。	—
14	H16	老朽ため池等整備 事業	神明池 (阿波市)	ため池堤体改 修	水生生物 (トウヨシボリ、モク スガニ・トンボの幼 虫等)	②最小化 ④軽減/消 失	・生息環境保全のため、多自然型 護岸とする。 ・個体を移植する。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面に自 然型擬石ブロック張(間詰めは現場発 生土)とした)。 ・工事区域内に確認されなかったた め移植していない(工事区域外に植 生を確認)。	・植生が繁茂してきて おり、生育環境を保全 できている。
15	H16	老朽ため池等整備 事業	檀池 (吉野川市)	ため池堤体改 修	水生生物 (メダカ、エビ、トンボ 等)	②最小化 ④軽減/消 失	・ため池の落水で干上がるため、水 生生物を避難する。 ・生息環境保全のため、堤体護岸を 一部自然石張とする。 ・個体を避難し、工事後に元に戻 す。	②最小化 ④軽減/消 失	・計画どおり(落水時にモクスガニを採 取し、ため池下流の水路へ放流)。 ・堤体上流側法面を自然型擬石ブ ロック張で施工(間詰めは現地発生 土)。 ・計画どおり(一時避難し、工事完 了後、現況生育付近に移植)。 ・落水時にため池の一部に水たまり を残した。 ・計画どおり(落水時にメダカを採取 し、上流水路へ放流)。	・植生の回復が確認さ れた。 ・H19.6に移植した個体 の消滅を確認したた め、再移植した (H21.11)
				ため池堤体改 修	水生生物	⑤代償	・ため池の落水で干上がるため、水 生生物を避難する。	⑤代償	・落水時にため池の一部に水たまり を残した。 ・計画どおり(落水時にメダカを採取 し、上流水路へ放流)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
16	H16	中山間地域総合 整備事業	牟岐 (牟岐町)	取水堰改修 区画整理	魚類 (ヤマトスズメト)	②最小化	・遡上できる構造を検討する。	②最小化	・計画どおり(石張りのスロープ)魚道を設けた。	・堰上流部で個体を確認(H20調査)
				区画整理	希少植物 (ミスワラビ、スズメハコバ、ウスゲチヨウジタテ)	②最小化 ④軽減/消失	・生育する表土を戻し、ほ場整備後にその表土を戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(表土を戻置きし、戻した)。	・ミスワラビ、スズメハコバを確認したが、ウスゲチヨウジタテは確認されなかった(H20調査)。
				水路	カニ・カエル・ヘビ等	②最小化	・生息環境の保全を検討する。	②最小化	・石積み及びフロン籠等による護岸とし生息地を創造するとともに、脱出用スロープを設置した。	・ベンケイガニ、トナカイ等確認(H20調査)。
				水路	徘徊生小動物 (カエル・ヘビ・イモリ等)	②最小化	・転落した際に這い上がれる構造とする。	②最小化	・計画どおり(排水路壁に階段スロープを設置)。	・水路内で小動物の死骸等は見られない(H20調査)。
				道路(側溝)	徘徊性動物 (アマガエル)	②最小化	・転落した際に這い上がれる構造とする。	②最小化	・計画どおり(道路側溝はアマガエル等が這い上がれる構造とした)。	—
				ほ場整備(水路)	希少植物 (アゼオトギ)	①回避	・群落のある土水路をそのまま残し、従来の水環境を維持する。	①回避	・計画どおり(群落のある土水路を存置した)。	・専門家が個体数の増加を確認。(H30)
				ほ場整備(水路)	希少植物 (アゼオトギ)	⑤代償	・移植する。	⑤代償	・計画どおり(確認された個体を類似環境へ仮移植。遊水池の付近に再移植を行う予定)。	・最初に移植した箇所は農家に撤去された。遊水池横に移植した個体は定着しなかった。 【分析】 ・農家の理解を得られるよう啓発が必要。
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミス・カモジ)	⑤代償	・移植する。	⑤代償	・生育箇所の畦土を剥ぎ取り、他の土と区別し一時保管。工事後の水路沿いの畦に戻した。	・ミス・カモジを確認できていない。 【分析】 ・土壌構造を保たず、移植したと考えられる。

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備(畦 畔)	希少植物 (ミスズバ、スズメ ノハコバ)	⑤代償	・移植する。	⑤代償	・生育箇所の畦土を剥ぎ取り、他の 土と区別し一時保管。工事後の畦 に戻した。	未
				ほ場整備(水 路)	希少植物 (フシバガマ、コウホ ネ)	⑤代償	・移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水 路)	希少植物 (ミスオオハユ、サン シウモ、ホツモ)	⑤代償	・移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水 路)	水生生物 (マガカ、トシヨウ 等)	②最小化 ③修正 ④軽減/消 失	・排水路の側壁や底部に凸凹部区 間を設ける。	②最小化 ③修正 ④軽減/消 失	・計画どおり(排水路の側壁に魚巢 ブロックを設置)。	未
				ほ場整備(水 路)	水生生物 (マガカ、トシヨウ 等)	③修正	・水田と排水路を結ぶ魚道を設置す る。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水 路)	小動物 (トノサマガエル、両 生類、は虫類)	②最小化 ④軽減/消 失	・転落した際に這い上げられる構造と する。	②最小化	・計画どおり(水路側壁に水路から 水田への移動可能な現場発生小石 槽)。	未
19	H17	国営附帯農 地防災事業	大津東部東 (鳴門市)	用水のハイ イン化	希少植物 (ハマホウ)	①回避 ⑤代償	・路線計画の変更による回避又は 移植等する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
20	H17	老朽ため池等整備 事業	寺谷池 (吉野川市)	ため池堤体改 修	水生生物 (マガカ、死コ、イ シガメ等)	②最小化 ④軽減/消 失	・堤体護岸の一部を自然石張護岸 とする。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面に自 然型搬石ブロックを設置)。	・5種の魚類、5種の貝 類・甲殻類を確認。
21	H17	農免農道事業	板野中部 2期 (板野町)	ため池堤体改 修	水生生物	②最小化 ④軽減/消 失	・ため池の落水に伴う、工事期間中 の水生生物への生息場所を確保す る。	④軽減/消 失	・計画どおり(工事期間中、浅瀬の 水たまりを創設)。	—
				道路	希少植物 (コイガラシ)	④軽減/消 失 ⑤代償	・生育環境に配慮を検討する。	⑤代償	・工事により、喪失する田、畦の表 土を取り置きしておき、工事後付近 の同様の場所にもどした。	未
				道路	魚類 (マガカ、トシヨウ 等)	③修正 ④軽減/消 失	・生息環境の創設及び、工事期間 中の濁水に留意する。	④軽減/消 失	・作業機械の点検整備により、重機 からの油類の流出・飛散の防止に 努めた。	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
22	H17	中山間地域総合 整備事業	脇中央 (美馬市)	工事内容 道路(側溝)	配対対象 希少植物 (ソクシリア、ウグイスカグラ、クチナシ)	②最小化 ④軽減/消 失	・配慮を検討する。	①回避	・事業計画の見直しにより配慮箇所を ずらす。・道路側溝を設けないこととした。	—
23	H17	中山間地域総合 整備事業	三好 (三好市)	堰 排水路 排水路 ため地堤体改 修	魚類 希少種 (ヤマイバラ) 希少植物 (ユキモチソウ) 魚類 (トウヨシノボリ)	②最小化 ①回避 ⑤代償 ①回避 ①回避 ①回避 ③修正 ④軽減/消 失	・落下した際に、這い上がれる構造とする。 ・取水堰の計画にあたっては、魚類が遡上できる構造とする。 ・個体が確認された排水路の路線変更する。 ・生息場所に影響がないよう、増川排水路改修工事を行う。 ・個体の保全を検討する。	①回避 ①回避 ①回避 ①回避 未	・計画どおり(排水路の路線を一部変更)。 ・計画どおり(生育区域を囲い、立ち入り禁止とした)。 配慮箇所周辺の工事未実施	・排水路脇で、良好に生育している。 — — — 工事の未実施
24	H18	経営体育成基盤 整備事業	古養水・東 北 (阿波市)	農業用水のハ イライン化 農業用水のハ イライン化 農業用水のハ イライン化	希少水生動物 (メダカ、ヒメマルタニシ、コオイムシ) 希少植物 (カワチンヤ) 希少植物 (センダングサ、コマユヅル)	②最小化 ③修正 ②最小化 ③修正 ②最小化 ④軽減/消 失 ④軽減/消 失	・調整水槽近傍にヒートープを創出し る。 ・パイプラインに伴い開水路への通 水が不要となるが、放水管を設置 し、地元関係者の協力のもと用水を 流す。 ・一時避難及び生育土壌を工事後 に戻す。	②最小化 — ①回避	・新たなヒートープの創設は困難なため、地区内にあるため池の水が枯れないように、水の放水管を設置し、希少水生動物(メダカ、ヒメマルタニシ、コオイムシ)の生息環境を保全する。 ・対策なし(ため池からの排水が常時流入することから、生育環境の大きな変更はなかった)。 ・配管ルートの変更により、生育箇所の掘削を回避。	未 — —
25	H18	経営体育成基盤 整備事業	御所 (阿波市)	用水のハ イライン化	希少植物 (カワチンヤ)	②最小化	・パイプラインに伴い開水路への通 水が不要となるが、放水管を設置 し、地元関係者の協力のもと用水を 流す。	④軽減/消 失	・地元関係者の協力により、現況開 水路に用水を流下させている。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				用水のハイプライン化(水槽)	水生動物 (キンブナ、カワムツ、ドジョウ、カヨシ)	②最小化 ③修正	・調整水槽近傍にビオトープを創出する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				用水のハイプライン化	希少植物 (ナンテンハギ、ヒメシハギ、コギンギン)	④軽減/消失	・個体を仮移植及び生育土壌を工事後に戻す。	①回避	・生息箇所は農地の畦畔部であり、道路区域内でのハイプライン工事の方法等を検討した結果、生育区域への影響が無いように工事を施工した。	—
26	H18	国営附帯県営農地防災事業	大山 (上板町・板野町)	用水のハイプライン化	希少植物 (ヒメシハギ)	②最小化 ④軽減/消失 ⑤代償	・個体を仮移植し工事後戻す。	①回避	・仮設道路計画路線を変更することで希少植物の生息地を回避。	—
27	H18	老朽ため池等整備事業	奥の池 (美馬市)	ため池堤体改修	希少植物 (シナホシ)	④軽減/消失	・ハイプライン化に伴い、生育する水路への用水は不要となるが、既存水路に水を流すことを、地元関係者に協力を求める。	④軽減/消失	・地元関係者の協力により、現況開水路に用水を流下させている。	—
				ため池堤体改修	希少生物 (モリアライ)	⑤代償	・工事前に種を採取し、工事後に付近に播く。	①回避	・仮設道路計画路線を変更することで、希少植物の生育地を回避。	—
				ため池堤体改修	希少植物 (シクシラン)	⑤代償	・個体を保護し、工事後に上のため池に戻す。	—	・池の水を抜く際に個体が発見できず、採取できなかつた。	—
				ため池堤体改修	希少植物 (イトモ)	②最小化	・工事による個体への影響を少なくするため、冬期に工事を行う。	⑤代償	・生育箇所を工事範囲外とし、回避した。	—
28	H18	農免農道事業	勝浦南部上 3期 (勝浦町)	農道(側溝、横断暗渠)	小動物・は虫類 等	④軽減/消失	・転落した際に這い上がられる構造とする。	④軽減/消失	・イトモ生育箇所の土を仮置し工事成後に戻した。(R020608)	・ため池水位上昇により確認できず (R021201)
29	H18	河川応急対策事業	有天第2 (徳島市)	樋門改修	水生動物植物	④軽減/消失	・堤体の改変を極力控え、工事中は低公害型の機種とし、重機からの油類の流出、飛散を最小限にとどめる。	④軽減/消失	・盛り土法下面部の水路に、小動物が這い上がられる構造を施工した。	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
30	H18	中山間地域総合整備事業	那賀川西部 (阿南市)	道路(接する水田)	希少植物 (ミスズツバ)	④軽減/消失	・個体が生育する水田土壌を再利用する。	④軽減/消失	・計画どおり(種子を含む水田土壌の仮置き、再利用した)。	・個体確認(H30調査)。
31	H19	経営体育成基盤整備事業 (排水対策型)	竹須賀 (徳島市)	水路	希少水生動物 (モロコ、ヤリタナゴ、モスガニ)	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・水路構造の検討及び在来水生植物の生育区間を確保する。	②最小化 ④軽減/消失	・計画どおり(底版中央部はコンクリートを張らない土砂溜まり部分を創設)。	・魚類6種(ヤリタナゴ、コウライモロコ等)を確認(H24調査)。
32	H19	老朽ため池等整備事業	藤谷池 (阿南市)	ため池堤体改修	希少植物 (スサガキ)	④軽減/消失	・一時避難し、工事後に戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(一時避難し、工事後戻した)。	・個体確認(H26調査)。
33	H19	老朽ため池等整備事業	一の坪 (吉野川市)	ため池堤体改修	水生生物 (トブガイ)	②最小化 ④軽減/消失 ⑤代償	・工事に伴う落水に際して、溜水内に移動させる。	④軽減/消失	・計画どおり(工事期間中、浅瀬の水たまりを創設)。	未
34	H19	湛水防除事業	上八万 (徳島市)	排水機場	希少植物 (ホスモ)	②最小化	・冬期に工事を行う。また、湿潤の環境を保全する。	②最小化	・計画どおり(冬期に工事を行うとともに、生育環境を改善しないため、施工ヤード以外は立ち入らない)。	未
35	H19	経営体育成基盤整備事業	段関 (鳴門市)	排水機場	希少植物 (コギンセン・オオアブナ等)	④軽減/消失	・個体を一時避難し、工事後に戻す。 ・種子を採取し、工事後、現地に播種する。	④軽減/消失	・計画どおり(専門家の指導の下、種子を採取し栽培すると共に、工事の影響のない類似環境に一時移植し、生育を確認)。 ・工事中の濁水の発生を極力抑える。	・4箇所で開花を確認したものの(H22)、その後生育を確認できていない。 ・プランターに避難している個体を移植予定。
35	H19	経営体育成基盤整備事業	段関 (鳴門市)	排水機場	希少植物 (コギンセン・オオアブナ等)	④軽減/消失	・生育土壌を工事後に戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(生育土壌を工事後の盛土や環境型ブロックの覆土に使用)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				水路	希少魚類 (カワハタモロ等)	②最小化	・生息空間を確保するため、水路側壁部を魚巢ブロックやカゴ枠等とする。	②最小化 他	・計画どおり(魚巢ブロック等設置するとともに、専門家の助言のもと、水路片岸を傾斜したブロック護岸とした)。 ・耕作者の理解を得て、コン田と排水路の往来が可能な魚道を設置。 ・水産研究所や一般企業、学校教育とも連携し、個体を避難させ増殖中。 ・増殖したカワハタモロを地区上流のため池(H26)と水路(H29)に放流。また、自然環境に近いヒオトフ池で育った親魚により耐性に強い種苗生産を行い放流を行う予定。	・放流したため池や水路での個体は未確認
				水路	希少種 (オニバス)	④軽減/消失	・種子を採取し、水路工完了後、環境配慮型の水路(縁田型水路)に、播種する。	④軽減/消失	・計画どおり(種子を採取し、縁田型水路に播種)。	・当初確認された箇所とは違うところに、継続して出現し、開花結実まで至っている。(R2)
36	H19	中山間地域総合 整備事業	三野西部 (三好市)		希少植物 (ミヤコアオイ・アケボ ノシュラン)	⑤代償	・個体を代替地に移植する。	⑤代償	・計画どおり(工事に影響のある個体を代替地に移植)。	・アケボノシュランは今年度も良好に生育。コハナチョウセンエノキは2mの高さに成長。(R2)
37	H20	河川応急対策事業	大井堰 (海陽町)	堰改修(魚道)	回遊性魚類 (ハマキリ)	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・魚道の改修において、生物的連続性の確保できる構造とする。	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・計画どおり(左右岸部は植え石魚道として、筏落とし部は魚道として整備)。	・アコ湖上を確認(H25春、H26春)。 ・E1湖上を確認(H26.9)。
38	H20	河川応急対策事業	長田堰 (徳島市)	堰改修	希少植物※湿性 植物 (タコアソ・ウマスゲ)	②最小化	・水路内の湿地環境を保つ。 ・河道内のタコアソ生育場所を確認し、工事の影響がないようにする。	②最小化	・計画どおり(水路通水を確保することにより湿地環境を保全し、工事影響範囲にタコアソの生育がないことを確認)。	未
				堰改修	水生動物	④軽減/消失	・工事中の土砂や濁水、重機からの油の流出を抑える。	④軽減/消失	・計画どおり(シルトフェンスの設置し、汚濁水の流出を防止)。	—
39	H20	国営附帯県営農 地防災事業	唐園 (上板町・ 板野町)	用水のパイプ イン化	希少植物 (サデガク)	④軽減/消失	・直接的な影響は無いが、生育環境は保全する。	④軽減/消失	・計画どおり(現地発生土で埋戻)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				用水のパイプライン化	希少植物 (クワ)	②最小化	・生育地付近の工事は、出来る限り冬期に実施。 ・生育している水路にかんがい期に水を流すことを、地元関係者に協力を求める。	②最小化	・計画どおり(登記の工事を実施し、地元関係者の協力により、かんがい期は現況開水路に用水を流下)。	未
40	H20	基幹農道事業	池田3期 (三好市)	道路	希少植物 (ヤブサンザシ・カンアオイ)	④軽減/消失	・農道計画路線付近に生育している個体の上に土砂が流れ落ちないような対策をする。	①回避	・事業計画の見直しにより配慮箇所をでは工事を行わず、影響を回避した。	-
				道路	希少植物 (エビネ・ミヤコアオイ)	①回避	・農道計画路線付近に生育している個体に影響が無いように施工をする。	①回避	・計画どおり(工事作業員に踏みつけや不必要な伐採はしないよう指示した)。	-
				道路(溪流横断部)	魚類 (ナカレホトケトジョウ等)	③修正	・溪流横断部については、ナカレホトケトジョウ等が遡上できる構造とする。	①回避	・事業計画の見直しにより配慮箇所をでは工事を行わず、影響を回避した。	-
41	H21	経営体育成基盤整備事業	大幸 (鳴門市)	道路	希少植物 (サデガ・コキギシ)	④軽減/消失	・生育土壌を工事後に戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(生育土壌を盛土や、環境型ブロックの覆土に使用)。	・段関と大幸の計4箇所の縁田部分にサデガの種子を蒔き、2箇所で出現、開花結実。(R元)
					希少魚類(トジョウ・カワハタモロ等)	②最小化	・生息空間を確保するため、水路側壁部を魚巢ブロックやカゴ枠等とする。	②最小化	・計画どおり(魚巢ブロック等設置するとともに、専門家の助言のもと、水路片岸を傾斜したブロック護岸とした)。	・環境DNA調査実施したが、カワハタモロを確認できず。(R021012)
42	H21	農道整備事業	大麻西2期 (鳴門市)	農道(横断水路)	水生動物	②最小化	地区内水路網の連続性を確保する。	②最小化	計画どおり(横断暗渠等により水路の連続性を確保)。	-
				農道	希少植物 (ヒメタデ・アゼスゲ・クノアジ)	④軽減/消失 ⑤代償	ヒメタデは生息地の土壌、アゼスゲは個体を、クノアジは個体と生息地の土壌を工事に影響のないところへ移動しておき工事後戻す、もしくは代替の生育場所へ移植する。	④軽減	計画どおり(表土を仮置きし工事後戻した)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
43	H22	経営体育成基盤 整備事業	坂野2期 (小松島市)	ほ場整備	希少植物 (ヒメミキ・クロモ) 希少水生動物 (ヤリタナゴ・ヌマムツ 等)	②最小化	・生育環境保全のため、水路内に 土砂が堆積する構造とする。 ・水路底のコンクリート張りしない、水 路側面の多孔質化、ワンド上の溜 まりの設置等の水路構造とする。	②最小化	・計画どおり(水路断面の側壁上部 を無ライニング(土羽)とすることで、 土砂堆積が可能な環境を創出し、 希少植物や水生動物の成育環 境を保全した)。	未
				ほ場整備	希少植物 (ミスワレビ・クロモ 等)	④軽減/消 失	・水田土壌を再利用するとともに工 事を冬季に実施し影響を軽減する。	④軽減/消 失	・計画どおり(水田土壌を再利用す るとともに、工事を冬季に実施する ことにより影響を軽減した)。	未
				ほ場整備	希少植物 (ミス・効モジ・アゼ スゲ等)	⑤代償	・個体を移植する。	④軽減/消 失 ⑤代償	・計画どおり(ミス・効モジを代替の生 育場所へ移植するとともに、種子を 採取し、工事の完了した畦畔に播 種)。 ・計画どおり(アゼスゲを一時避難し、 工事完了後に生育適地へ移植)。 ・地元農家に対し希少植物の生息 地及び今後の維持管理について説 明した。	・ミス・効モジは3箇所 で 生育。(R2) ・アゼスゲは移植を行っ た全箇所 で順調に増 殖中。(R2)
44	H22	老朽ため池等整備 事業	敷地池 (吉野川市)	ため池堤体改 修	水生動物	②最小化	・堤体内側の一部を水際植物が生 育し魚介類が生息できるよう多孔質 の張りアロック等とする。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面にフ ロックマットを設置)。	・植物繁茂を確認。
				ため池堤体改 修	希少植物 (ミゾコウジュ・ススマ ノボエ等)	④軽減/消 失 ⑤代償	・個体を工事期間中避難させ、工事 後元の場所へ戻す。もしくは類似環 境へ移植する。	④軽減/消 失 ①回避	・計画どおり(工事期間中、影響を 受けない場所に回避させており、工 事完了後に元の生育場所に戻す予 定)。 ・生育区域への影響が無いように工 事を施工した。	・回避箇所において、 良好に生育しているこ とを確認。
45	H23	老朽ため池等整備 事業	新池 (三好市)	ため池堤体改 修	水生動物	②最小化	・堤体内側を多孔質の張りアロックと する。	②最小化	・計画どおり(堤体内側にフロックマ ットを設置)。	・過年度に実施した箇 所については、植物が 繁茂してきている。
				ため池堤体改 修	水生動物	④軽減/消 失	・落水の際は徐々に排水し、溜水域 を確保する。	④軽減/消 失	・同一水系のため池に避難放流し た。	—
46	H23	経営体育成基盤 整備事業	長生西部 大原工区 (阿南市)	ほ場整備(排 水路)	水生動物	①回避	・下流水系との連続性を確保するた め、大津田川と三日月湖を結ぶ水 路を存置する。	①回避	・計画どおり(大津田川と三日月湖 を結ぶ水路を現況のままとした)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備(排水路)	水生動物	②最小化	・生息空間復元のため、幹線排水路の構造を、多孔質(石張、魚巢箱)とする。	②最小化	・計画どおり(排水路底版部を現地発生石を利用した多孔質(石張)とし、側壁部には魚巢ブロックを設置)。	未
				ほ場整備(排水路)	水生植物 (オグラコウホネ、アイノコヒルムシロ)	②最小化	・生育環境復元のため、幹線排水路底版部の構造を、多孔質(石張)とする。	②最小化	・計画どおり(排水路底版部を現地発生石を利用した多孔質(石張)とし、個体を水路完成後に移植)。	・専門家によりオグラコウホネの良好な生育を確認(H30.3.19)。 ・アイノヒルムシロはここ数年確認できていない。(R2)
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・大津田川と排水路の連続性を保つため、接続部に段差を付けない。	③修正	・計画どおり(大津田川と排水路の接続部にスロープを設置)。	—
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・簡易型水田魚道を取り付ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(沈砂地の設置による濁水流出防止及び、工事中の作業機械の点検整備により油類の流出飛散防止に努めた)。	—
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミス、カモシ、アゼスゲ)	⑤代償	・種子と生育土壌を採取、保存しておく、整備後の田畦に移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ノニカナ)	⑤代償	・種子と生育土壌を採取、保存しておく、大谷工区の類似環境へ移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (フサスケ)	⑤代償	・種子と生育土壌を採取、保存しておく、三日月湖の類似環境へ移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	在来植生	①回避	・現況の生育環境を残し、営農の中で生育地周辺の維持管理(草刈り)を継続していく。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備(排水路)	水生動物	②最小化	・生息空間復元のため、幹線排水路の構造を、多孔質(石張、魚巢箱)とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(排水路)	水生植物 (オケラウホネ)	②最小化	・生育環境復元のため、排水路底版部の構造を、多孔質(石張)とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・大津田川と排水路の連続性を保つため、接続部に段差を付けない。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・簡易型水田魚道を取り付ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(沈砂地の設置による濁水流出防止及び、工事中の作業機械の点検整備により油類の流出飛散防止に努めた)。	—
				ほ場整備(水田表土)	希少植物 (ミスワレ、ミスマツハ)	④軽減/消失	・生育環境の復元のため、水田表土の再利用を行う。	④軽減/消失	・計画どおり(希少植物の種子を含む表土を剥ぎ取って保管し、整備後の水田の表土として再利用)。	未
				ほ場整備	希少植物 (アホヒタテ、ミスタカモジ、アセスケ)	⑤代償	・生育地の土壌をブロッグ移植するとともに、種子を採取し移植先周辺に播種する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備	希少植物 (ウマスケ、ミスカモジ)	⑤代償	・個体を類似地へ移植する。	⑤代償	・計画どおり(生息位置の確認後、移植する個体を採取し、一時的に仮移植。移植先の代償池を整備した後、本移植)。	・整備した代償池に、ミスカモジ、ウマスケ、アセスケの3種を移植。ウマスケとアセスケは順調に生育。ミスカモジは最初に移植した個体が生育不良のため、再度移植。(R2)

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
47	H24	老朽ため池等整備 事業	坊尚池 (美馬市)	ため池堤体改 修	魚介類	②最小化	・生息場所としての水際植物が生育できる環境配慮型護岸(多孔質の張りアロック等)を堤体内側法面の一部に使用する。	②最小化	・計画どおり(堤体内側法面にブロックマットを設置した)。	未
						②最小化	・外来種の侵入抑制のため、堤体外側の法面保護として、シバ等の在来種による緑化を行う。	②最小化	・計画どおり(外来種の侵入抑制のため、堤体外側の法面保護として、シバ等の在来種による緑化を行った)。	
						④軽減/消 失	・ため池の水を抜く際、徐々に水を排出し、ため池内部に溜水域を確保し、在来の水生動物が避難できるようにする。	④軽減/消 失	・計画どおり(地元水利組合と連携し、水を徐々に排水することに努めた)。	
						④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・計画どおり(工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散防止に努めた)。	
						④軽減/消 失	・工事後の植生の復元が速やかに行われるよう、工事による改変・影響を極力少なくする。	④軽減/消 失	・例年行う落水期間に合わせて工事を実施した(近傍に鶏舎があることから、取水期以外は池の水を落水)。	
						②最小化	・堤体内側の張りアロックについて、多孔質のコンクリート製品を堤体の一部に使用する。	②最小化	・堤体上流側法面にブロックマットを実施し、植生空間を創る工事を実施。	
48	H25	老朽ため池等整備 事業	相名池 (阿南市)	ため池堤体改 修	在来水生動物	④軽減/消 失	・個体が避難できるようにするたため、ため池の水を抜く際、徐々に水を排出し、ため池内部に溜水域を確保する。	④軽減/消 失	・徐々に水を排出した。	未
						④軽減/消 失	・工事により影響のある水田の表土(ミスツツパ)の埋土種子を含む)に影響の無いところに仮置きし、工事後に戻す。	④軽減/消 失	・表土の仮置を行った。堤体工事後に元の場所に戻す。	

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ため池堤体改修	全般 ×外来種魚類 (オオクチバス)	④軽減/消失	・工事に関わる作業ヤードは必要最小限度とする。 ・干上げの際、オオクチバス(特定外来種)を駆逐する。	④軽減/消失	・工事に関わる作業ヤードは必要最小限度の範囲とした。 ・オオクチバスは池内に生息していなかった。	—
49	H26	国宮附帯農 地防災事業	大幸西 (鳴門市)	用水のハイプライン化		②最小化	・水量が減少すると考えられる既存水路に、計画の排泥工より適量の水を流し、水生動物への生息環境を保全する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				用水のハイプライン化		③軽減/消失	・工事の影響を受けるサケウサ、ミズアオイは生息地の土壌を、ゴキツギは個体を、工事の影響のないところへ移動し、工事後に戻す、または近隣の類似環境の場所へ移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
22 ⁵⁰	H26	老朽ため池等整備 事業	源太池 (阿波市)	ため池堤体改修	在来植生	②最小化	・堤体内側の張りプロックについて、多孔質のコンクリート製品を堤体の一部に使用する。	②最小化	・堤体上流側法面にプロックマットを実施し、植生空間を創る工事を実施。	・植生が繁茂してきており、生育環境を保全できている。
				ため池堤体改修	水生動物	④軽減/消失	・ため池の水を抜く際、徐々に水を排出し、ため池内部に溜水域を確保し、在来の水生動物が避難できるようにする。	④軽減/消失	・地元関係者と調整し、ため池の水を徐々に排出している。	
				ため池堤体改修	希少植物 (コマヅル)	④軽減/消失	・個体及び埋土種子を含む表土を、影響の無いところに仮置きし、工事後に戻す。また、事前に種子を採取し、工事後に播く。	④軽減/消失	・保護育成していた個体を現地に移植した。	・個体の生育を確認 (R3までモニタリングを継続する)。
				ため池堤体改修	在来植生	④軽減/消失	・工事により影響のある水田の表土に影響の無いところに仮置きし、工事後に戻す。	④軽減/消失	・水田の表土は、工事に影響のないところへ仮置きし、工事後に戻す予定。	

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
51	H27	国営附帯県営農 地防災事業	那賀川・小 松島 (小松島市)	ため池堤体改 修 水路 水路	全般 ×外来種魚類 (オカチハス)	④軽減/消 失 ②最小化 ③修正	・工事に關わる作業ヤードは必要最 小限度とする。 ・干上げの際、オカチハス(特定外来 種)を駆逐する。 ・排水路の構造を、多孔質(石張 等)とし、水生植物・水生動物の生 息空間を復元する。 ・現況水路と改修水路の接合部に おいて、魚類の移動を妨げない緩 傾斜構造とするとともに、移動経路 として水田魚道を設置する。	④軽減/消 失 ④軽減/消 失 ④軽減/消 失	・工事に關わる作業ヤードは、必要 最小限度としている。 ・工事に先立つ干上げの際に、駆 逐すべき外来種は発見されず、在 来種は同水系の近傍ため池に移動 し放流した。 ・配慮計画が事業目的に相反する ため、未実施。 ・代替として、水路立交差函渠部 の窪地箇所を維持し、溜まり(水生 生物の生息空間)を創設した。 ・計画どおり(現況との接合部を緩 傾斜構造とした。水田魚道を設置し た。)	・溜まりに水生動物を 確認 ・非かんがい期におい ても枯渇しないことを 確認 ・水田内に魚類を確認
				水路	全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機から の油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機から の油類の流出・飛散に注意した。	—
				水路	小動物	④軽減/消 失	・小動物の這い上り水路を設置す る。	④軽減/消 失	・配慮計画が事業目的に相反する ため、未実施。 ・代替として、水路内に入入りする ための既存の階段を維持し、這い 上がれる構造を創出した。	—
				水路	希少植物 (クロモ、クロカワスズ ケ)	④軽減/消 失	・個体を影響を受けない場所へ避 難させ、工事後、元の場所に戻す。	④軽減/消 失	・工事期間中、希少植物(クロモ)を影 響を受けない場所へ避難させた。用 希少植物(クロカワスズケ)は、用水 路外の田の畦に生育が確認されて いたため、工事に当たって、保護区 域を設定し、工事に際して、資材を 置いたり、踏み荒らしたりすることが 無いよう努めた。	クロモの殖芽を播種した 箇所において、生育が 確認できなかった。 【原因】 播種後の豪雨等によ り、個体定着前に流亡 したと思われる。
				水路	希少植物 (クロモ、クロカワスズ ケ)	⑤代償	・改修水路内において、水生・湿生 植物の生息空間を創出する。	④軽減/消 失	・配慮計画が事業目的に相反する ため、未実施。 ・代替として、水路立交差函渠部 の窪地箇所を維持し、溜まり(水生 生物の生息空間)を創設した。	・溜まりに水生動物を 確認 ・非かんがい期におい ても枯渇しないことを 確認

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
52	H27	国営附帯県営農 地防災事業	那賀川・今 津 (阿南市)	水路	水生動物	②最小化	・排水路の構造を、多孔質(石張等)とし、水生動物の生息空間を復元する。	④軽減/消失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。 ・代替として、水路立体交差函渠部の窪地箇所を維持し、溜まり(水生動物の生息空間)を創設した。	・溜まりに水生動物を確認 ・非かんがい期においても枯渇しないことを確認
				水路	魚類 (マカ、ドジョウ)	③修正	・現況水路と改修水路の接合部において、魚類の移動を妨げない緩傾斜構造とするとともに、移動経路として水田魚道を設置する。	④軽減/消失	・計画どおり(現況との接合部を緩傾斜構造とした。水田魚道を設置した。)	・水田内に魚類を確認
				水路	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(沈砂池設置による濁水流し防止及び、工事中の作業機械の点検整備により油類の流出飛散防止に努めた)	-
				水路	小動物	④軽減/消失	・小動物の這い上り水路を設置する。	④軽減/消失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。 ・代替として、水路内に入上りするための既存の階段を維持し、這い上がれる構造を創出した。	-
				水路	希少植物 (コイカラス)	④軽減/消失	・個体を影響を受けない場所へ避難させ、工事後、元の場所に戻す。	①回避	・水路内工事のため、影響を回避した。(また、工事作業員による踏みつけ防止や仮設道路計画も影響のない対岸に設置する等し影響回避に努めた。)	-
				水路	希少植物 (コイカラス)	⑤代償	・個体を近隣の類似環境の場所に移植する。	①回避	・水路内工事のため、影響を回避した。(また、工事作業員による踏みつけ防止や仮設道路計画も影響のない対岸に設置する等し影響回避に努めた。)	-
				水路	希少水生植物 (クロモ)	②最小化	・排水路の構造を、多孔質(石張等)とし、水生植物・水生動物の生息空間を復元する。	④軽減/消失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。 ・代替として、水路立体交差函渠部の窪地箇所を維持し、溜まり(水生動物の生息空間)を創設した。	・溜まりに水生動物を確認 ・非かんがい期においても枯渇しないことを確認
53	H27	国営附帯県営農 地防災事業	那賀川・平 島 (阿南市)	水路	魚類 (マカ、ドジョウ)	③修正	・現況水路と改修水路の接合部において、魚類の移動を妨げない緩傾斜構造とするとともに、移動経路として水田魚道を設置する。	④軽減/消失	・計画どおり(現況との接合部を緩傾斜構造とした。水田魚道を設置した。)	・水田内に魚類を確認

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
54	H27	国営附帯農 地防災事業	那賀川・南 岸 (阿南市)	水路	希少水生植物 (クロモ)	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・計画どおり(沈砂池設置による濁水流し防止及び、工事中の作業機械の点検整備により油類の流出飛散防止に努めた) ・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。	－
				水路	小動物	④軽減/消 失	・転落した際に這い上がられる構造とする。	④軽減/消 失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。	－
				水路	希少水生植物 (クロモ)	⑤代償	・改修水路内において、水生・湿生植物の生育空間を創出する。	④軽減/消 失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。	・溜まりに水生動物を 確認 ・非かんがい期においても枯渇しないことを 確認
				水路	希少水生植物 (クロモ)	②最小化	・排水路の構造を、多孔質(石張等)とし、水生植物・水生動物の生育空間を還元する。	④軽減/消 失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。	・溜まりに水生動物を 確認 ・非かんがい期においても枯渇しないことを 確認
				水路	魚類	③修正	・現況水路と改修水路の接合部において、魚類の移動を妨げない緩傾斜構造とする。ともに、水路への簡易型水田魚道を設置する。	④軽減/消 失	・計画どおり(現況との接合部を緩傾斜構造とした。水田魚道を設置した。)	水田内に魚類を確認
				水路	希少植物 (コイカラン・クロモ)	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・計画どおり(沈砂池設置による濁水流し防止及び、工事中の作業機械の点検整備により油類の流出飛散防止に努めた)	－
				水路	小動物	④軽減/消 失	・転落した際に這い上がられる構造とする。	④軽減/消 失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。	－
				水路	希少植物 (ヒツツハハキ)	④軽減/消 失 ⑤代償	・工事期間中、影響を受けない場所へ避難させ、工事後、元の場所に戻す。 ・近隣の類似環境の場所に、移植する。	①回避	水路内工事のため、影響を回避した。(また、工事作業員による踏みつけ防止や仮設道路計画も影響のない対岸に設置する等し影響回避に努めた。)	－
				水路	希少水生植物 (クロモ)	⑤代償	・改修水路内において、水生・湿生植物の生育空間を創出する。(クロモ)	④軽減/消 失	・配慮計画が事業目的に相反するため、未実施。	・溜まりに水生動物を 確認 ・非かんがい期においても枯渇しないことを 確認

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
55	H27	老朽ため池等整備 事業(土地改良施 設備震災対策事業)	三村用水 (三好市)		水生動物	②最小化	・蟬頭首工での取水量を調節し、 生息区間の水量を確保する。	②最小化	・工用水を別の水源より取水し、 生息区間の水量を確保した。	未
					全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機から の油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・計画どおり(工事の際、濁水の流 出、重機からの油類の流出・飛散に 注意した)。	—
56	H28	経営体育成基盤 整備事業	大代戎野 (鳴門市)	水路	水生植物※魚類	②最小化	・水路側壁部にブロックネット・フトン かご等を敷設し覆土を行い、水生植 物の植生回復により、魚介類の生 息空間を創出する。	②最小化	・計画どおり(魚巣ブロック等設置する とともに、専門家の助言のもと、水 路片岸を傾斜したブロック護岸とし た)。	・環境DNA調査実施し たが、カバタEPDを確 認できず。(R021012)
					全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機から の油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・計画どおり(工事の際、濁水の流 出、重機からの油類の流出・飛散の 防止に努めた)。	—
					希少植物 (コキンキン・コイヌカ ラン)	④軽減/消 失	・個体を生育地の土壌と共に工事 の影響のないところに移動し、工事 後戻す。	—	・施工区間において、個体を確認で きなかった。	未
					希少水生植物 (オニバス)	⑤代償	・オニバスの種子を採取し、水路工事 完了後、環境配慮型水路に播種す る。	⑤代償	・オニバスの種子を採取し、水路工事 完了後、環境配慮型の水路(縁田 型水路)に、播種した。	・生育していることを確 認した。
57	H28	老朽ため池等整備 事業(農業用河川 工作物応急対策 事業)	神野 (海陽町)	堰改修	魚類	②最小化	・右岸側魚道の破損による漏水を 修復し、新たに詰め石により魚道部 の水深・流速に変化を設け、遊泳力 の弱い魚種でも機能する形式とす る。	②最小化	・計画どおり(魚道の修復にあつ て、水深・流速に変化をもたらす詰 め石を魚道表面に配置した)。	未
				堰改修	魚類等	③修正	・生物的連続性を確保するため、堰 下流部の護床部を現況河床にすり 付ける。	③修正	・計画どおり(堰下流部の護床ブロッ クを現況河床にすりつけ設置した)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
58	H29	中山間地域総合 整備事業	那賀東部 (那賀町)	堰改修(重機)	全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・計画どおり(工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散の防止に努めた)。	—
				堰改修(工事 用道路)	在来植生	④軽減/消 失	・仮設道や作業ヤードを最小限とし、在来植生への影響を軽減する。	④軽減/消 失	・計画どおり(工事ヤードを必要最小限とした)。	—
58	H29	中山間地域総合 整備事業	那賀東部 (那賀町)	ため池堤体改 修	魚類 (ナガレホトケトジョウ ウ)	①回避	・ナガレホトケトジョウの確認されたため池上流部は改変をしない旨を設計図書に明示する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
					全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流失、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
59	H30	経営体育成基盤 整備事業	芳崎 (阿南市)		希少植物 (ウメバチソウ、 トサシモツケ、ヒ ツバハギ、ナカガ ワノギク、カリガ ネソウ、シラン)	④軽減/消 失	・河床間隙を塞がないように河川内への重機の侵入、進入路の設置を最小限とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水 路)	魚類	④軽減/消 失	・生育地を変えない旨を設計図書に明示し、看板やロープなどを設置する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
59	H30	経営体育成基盤 整備事業	芳崎 (阿南市)	ほ場整備	魚類	③修正	・種子、殖芽及び個体を採取し、工事後に本種が生育出来るような環境を整え、植え戻し及び播種を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水 路)	魚類	③修正	・新設および付替え水路と現況水路との接合部において、魚類の移動を妨げないよう緩傾斜とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名(所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング結果等(予定)
				ほ場整備(重機)	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ほ場整備(畦畔)	希少植物(ミスカモシ、アゼスゲ)	④軽減/消失	・種子を採取し、個体と生育地の土壌と共に工事の影響のないところに移動しておき、工事後植戻し及び播種を行う。	④軽減/消失	・ミズカモシ、アゼスゲの種子を採取後、播種し、生育状況のモニタリングを実施中。(R020415他)	未
				ほ場整備(畦畔)	希少植物(フジハカマ)	⑤代償	・個体と種子を採取し、生育環境の類似した場所に移植及び播種を行う。	—	・今回の踏査では確認されなかった。現場は、草刈りが実施されていた。(R020415他)	未
60	H29	経営体育成基盤整備事業	沼田(美馬市)	ほ場整備(水路)	魚類	②最小化	・床板を設置する箇所等の魚類の隠れ場所となる水路に水のたまり区間を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(重機)	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散の防止に努めた)。	—
				ほ場整備(畦畔)	希少植物(ヒメミスアラビ、コキツギシ、コイヌカラシ、ミスツバ)	④軽減/消失	・個体を生育地の土壌と共に工事の影響のないところに移動しておき、工事後戻す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物(オオカラスウリ) × 外来生物(アレチウリ)	④軽減/消失	・隣接他部局の工事範囲で確認されたので他部局との情報共有を行う(オオカラスウリは保全。アレチウリは駆除、場外搬出ししない)。	—	生鳥地を工事エリアに含む堤防工事担当へ情報提供した。	—
				ほ場整備(水路)	× 外来生物(オオカワチヤ)	④軽減/消失	・生育箇所の土壌を場外搬出ししない。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物(ノニカナ)	⑤代償	・種子を採取し、工事完了後、地区内のさまざまな環境に播種する。	⑤代償	・計画どおり(個体及び種子を採取し、現地で播種及び移植のモニタリングを実施し、移植先の検討を行った)。 工事後適地に移植する予定。	・一部個体については、生育していることを確認した。

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
61	H29	国営附帯県営農 地防災事業	藍住3期 (藍住町)	用水のハイプ イン化・水路	魚類	③修正	・移動を妨げないよう、新設および 付替え水路と現況水路との接合部 を緩傾斜とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				用水のハイプ イン化・水路	魚類	③修正	・夏場の水温上昇の抑制や、非灌 漑期の水域を確保するため、函渠 部において段差を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				用水のハイプ イン化・水路	全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流下、重機から の油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				用水のハイプ イン化・水路	在来植生	⑤代償	・生育場所の畦畔などの土を可能 な限り工事に流用する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
			伊沢中央 2期 (阿波市)	道路(周辺・法 面)	在来植生	③修正	・工事によってダメージを受けた路 線周辺の植生や、新設農道の法面 を、在来種により緑化を行い自然植 生の回復を図る。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				道路(重機等)	全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流下、重機から の油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				道路	希少植物 (イヌハギ)	④軽減/消 失	・個体を生育地の土壌とともに工事 の影響外へ移動し、工事後に戻 す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				道路	希少植物 (イヌハギ)	⑤代償	・個体と種子を採取し、工事の影響 のない類似の環境へ移植及び播種 する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
			塚池 (吉野川市)	ため池堤体改 修	希少植物 (コマザル)	④軽減/消 失	・種子を採取し工事後播種すると ともに、個体を土壌とともに避難し、工 事後植戻しする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改 修	在来植生	④軽減/消 失	・堤体に緑化部分を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ため池堤体改修	水生動物 (トシヨウ・オオタニシ)	④軽減/消失	・トシヨウは、流入谷川へ移動させる。 ・オオタニシは、池流入部の湿水域に避難させる。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ため池堤体改修	×外来種 (スレソ、コイ・アマリガニ)	③修正	・スレソは、生育する土壌を工事箇所周辺で乾燥させ駆除する。 ・コイは、ため池外に移す。 ・アマリガニは、減水時に駆除する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
64	H30	老朽ため池等整備事業	花園池 (三好市)	ため池堤体改修	希少植物 (コカモヅル)	④軽減/消失	・種子を採取し工事後播種するとともに、個体を土壌とともに避難し、工事後植戻する。	④軽減/消失	・コカモヅルの個体及び表土を仮置きした。工事完成後、現地へ移植予定。	未
				ため池堤体改修	在来植生	④軽減/消失	・堤体に緑化部分を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	貝類 (オオタニシ)	④軽減/消失	・池流入部の湿水域に避難させる。	④軽減/消失	・計画どおり(湿水域に避難させた)。	未
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ため池堤体改修	×外来種 (オオクハス、ブルギル)	③修正	・ため池からの流出に注意し、駆除するとともに、工事後、特定外来生物放流禁止の啓発活動を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
65	H30	老朽ため池等整備事業	妙見池 (阿南市)	ため池堤体改修	希少植物 (コカモヅル)	④軽減/消失	・種子を採取し工事後播種するとともに、個体を土壌とともに避難し、工事後植戻する。	④軽減/消失	・コカモヅルの個体を採取した。今後、保護育成し、種子の採取及び播種により移植のための苗の生産を行う予定。(R020926)	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ため池堤体改修	希少植物 (スズメゴエ)	⑤代償	・種子を採取し工事後播種するとともに、生息地の表土を堤体盛りに利用する(播種、盛り土ともに堤体の水際)。	⑤代償	・スズメゴエの個体を採取した。今後、保護育成し、種子の採取及び播種により移植のための苗の生産を行う予定。(R021016)	未
				ため池堤体改修	魚類 (ミナミタカ、シマヒレヨシノボリ)	②最小化	・堤体内側の法面保護にブロックマットなど水際植物の生息しやすい構造とし、の生息空間を創出する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	貝類 (オオタニシ、マシジミ)	④軽減/消失	・工事の水抜きの際、避難出来るようゆっくりと落水する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	水生生物	④軽減/消失	・避難場所として、ため池内部に溜水域を確保する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散しないようにする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ため池堤体改修	×外来種 (オオクチバス、ブルーギル)	④軽減/消失	・特定外来生物を放流されないよう啓発を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	希少植物 (オオカラスウリ)	④軽減/消失	・種子を採取し工事後適地に播種するとともに、個体を適地に移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	希少植物 (ミヤコイバラ)	④軽減/消失	・施工者に保護の啓発を行うとともに、個体に影響を極力与えないよう、仮設道路や重機置ききの位置を選定する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	魚類等 (コウクハゼ、オオタニシ)	④軽減/消失	・施工時の減水期に個体を一時避難させ、施工後に同池に戻す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
66	H31	老朽ため池等整備事業	大師池 (美馬市)							

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
67	R2	経営体育成基盤 整備事業	長生中央	ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミス'効モジグサ)	①回避	・ミズタカモジグサが生育している土水路を、一部現況のまま残し、生育環境を保全する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水路)	希少植物 (オオクワコウホネ、クロモ)	②最小化	・排水路底版部の構造を、多孔質(石張)とし、水生植物の生育空間を還元する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ヒメスワラビ、コイヌカ、アサギ、ミス'マツハ、ウスゲ'チョウジタテ、カワチ'ヤ、スズメ'ハコ)	④影響の軽減/消失	・水田土壌の再利用を行い生育環境を還元する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ノニガサ)	④影響の軽減/消失	・種子を採取し育苗して、工事後に田畔に植え戻す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミス'効モジグサ、アサギ、アサギ、ウスゲ、オウマシゲ、オウシゲ)	⑤代償	・できる限り多くの個体を採取し栽培して、工事後、田畔に植え戻す。また、代替湿地の田畔に植え戻す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミス'オオハコ)	⑤代償	・ミス'オオハコが生育している土壌を取り置きしておき、工事後、類似環境の田に再利用する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水路)	魚類	①回避	・魚介類の供給源や生息空間として重要と思われる土水路・石積みの現況水路を一部残す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水路)	魚類	③修正	・新設および付替え水路と現況水路との接合部において、魚類の移動を妨げないよう緩傾斜とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水路)	貝類	③修正	・函渠部において、段差をもうけ土砂の溜まりをつくり、貝類の生息場所となる構造とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備(水路)	魚類	③修正	・大津田川と排水路の連続性を保つため、接続部に段差を付けない。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(重機)	全般	④影響の軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流失、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
68	R2	老朽ため池等整備事業	第一金清池 (阿波市)	ため池堤体改修	希少植物 (コカモザル)	②最小化	・堤体外側の法面保護として、シバ等の在来種による緑化を行い、外来種の侵入を抑制する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	希少植物 (コカモザル)	④影響の軽減/消失	・工事までに個体を避難させ、プラントーにより保護育成した個体及び現地採取した種子を播種育苗したコカモザルを、工事後の堤体に再移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	魚類 (モツゴ、シマヘヨシノホリ)	②最小化	・堤体内側の張りブロックについて、魚介類の生息場所としての水際植物が生育できる環境配慮型護岸(多孔質の張りブロック等)を堤体の一部に使用する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	魚類 (モツゴ、シマヘヨシノホリ)	④影響の軽減/消失	・工事の際池流入付近の浅瀬にビオトープ池的なものを造成し、在来水生動物の避難場所とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	魚類 (モツゴ、シマヘヨシノホリ)	④影響の軽減/消失	・施工時の減水に併せ個体を採捕し、同一水系で第1金清池と類似した環境のため池に分散避難させ、工事後戻す。	④影響の軽減/消失	・計画どおり(モツゴ、シマヘヨシノホリ)を採捕し、同一水系で第1金清池と類似した環境のため池(第2金清池)に分散避難させた。(R020730他)	未
				ため池堤体改修	×外来種 (オオクサハス、フールーギル)	④影響の軽減/消失	・外来生物の放流禁止サインによる生態系配慮の啓発	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ため池堤体改修	全般	④影響の軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
69	R2	老朽ため池等整備事業	オソノ池 (美馬市)	ため池堤体改修	希少植物 (コカモザル)	②最小化	・堤体外側の法面保護として、シバ等の在来種による緑化を行い、外来種の侵入を抑制する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ため池堤体改修	希少植物 (コカモメツル)	④影響の軽減/消失	・工事までに個体を避難させ、プラントナーにより保護育成した個体及び現地採取した種子を播種育苗したコカモメツルを、工事後の堤体に再移植する。 ・可能なかぎり個体が工事の影響を受けないよう、工事の際、工事業者等に希少植物の生育場所の周知、保護についての啓発を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	希少植物 (ミヤコイハラ)	④影響の軽減/消失	・工事の際、仮設道路の位置や重機の置き位置が個体の生育箇所に可能なかぎり影響を及ぼさないよう配慮する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	-
				ため池堤体改修	希少植物 (ミヤコイハラ)	④影響の軽減/消失	・施工時の減水期に個体を採取し、同池または近隣のため池に避難場所を検討し、一時避難させ、施工後に同池に戻す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	魚類 (モツコ)	④影響の軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	-